

イタリアンは順調ですか？ (前編)

広島県立総合技術研究所畜産技術センター 次長兼技術支援部長 神田則昭氏

■今年の経験を来年に活かす

今年の自給飼料生産はどのような結果であったのでしょうか。

畜技センターでは、イタリアンライグラスの一番草収穫が例年に比べてうまく作業できたように感じています。表1が収穫作業の時期と数量です。作業を進めるにあたっては、1日あたり50~60ロールを目安として、刈取から収納までで3日間、さらに刈取前日の雨も避けたいので、連続4日間を1回の作業単位として、雨が降らないであろう期間を予



(イタリアン)

表1 一番草の旬別作業実績

		面積(ha)	ロール(個)
5月	上旬	1.6	37
	中旬	2.9	44
	下旬	5	125
6月	上旬	3.8	60
	中旬	3.9	56

報から見定めて作業開始,というのが基本的な作業方針です。

この目論見と天気が、今年が一番草ではうまく当たりました。(例年ははずれているということですが…) 5月上旬から6月中旬までの45日間で6回行った収穫の一連作業は、降雨日数は平年よりも多かったのですが、ほとんど雨は降りませんでした。

結果を見て、後になってから「〇〇すればうまくできたららうに」と言うことは簡単ですが、計画目標を達成(=成功)できるように実行することが技術だと思えます。技術は、見たり聞いたりして得た知識をベースとして、実際に頭と体を動かした経験を積み重ねることによって実現可能なものになり、さらにイメージトレーニングや実際の経験から失敗の原因を分析して取り除くことによって、より確かなものにできます。

この冬の間は、是非、今年の結果(成功も失敗も)を振り返ってみてください。

(来月号へつづく)

※畜技が行っている管理技術について詳しく知りたい方は、0824-74-0332(技術支援部)までご連絡ください。

お知らせ

2/18 ~ 22 全酪連 酪農セミナーのご案内

演題: 哺育管理と腸の管理 ~下痢にsayonara~ 参加募集×切: 平成31年1月25日



以下の日程で、全酪連主催の「2019年酪農セミナー・ワークショップ」が開催されます。

講師は、近年の哺育子牛の栄養研究において目覚ましい研究成果を発表して注目されています新進気鋭の研究者のマイク・マイク・A・スティール博士(カナダ ゲルフ大学教授)があたられます。

今回のセミナー会場は、全国3会場となっており何れの会場も広島県からは遠方となりますが、是非とも、この機会に参加されますようご案内します。

1 開催日時と場所

開催月日	セミナー名と会場		【酪農セミナー】
2月18日(月)	東京セミナー	ザ・グランドホール (東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 3階)	序章 イントロダクション 第1章 最新初乳事情 第2章 哺育期管理 第3章 離乳移行期・離乳後の管理 第4章 下痢について 第5章 哺乳ロボットの紹介 ※ワークショップは、消化管健康の全貌など5章に分かれて行われます。
2月19日(火)	熊本セミナー	菊南温泉 ユウベルホテル (熊本県熊本市北区鶴羽田 3-10-1)	
2月21日(木)	札幌セミナー	ホテルエミリア札幌 (北海道札幌市厚別中央 2条 5)	
2月22日(金)	札幌ワークショップ		

※各会場とも開会は午前10時、閉会は午後4時の予定です。

- 参加申込期日 平成31年1月25日(金)
- 参加申込先 広酪生産振興課(担当: 和田・藏崎 TEL0824-64-2072)
※参加申し込み時には、参加期日、参加会場をお知らせ下さい。
- 参加費 5,000円(税込み)